

ICTを用いた オーダーメイドの支援 ～児童・生徒のできる！を引き出す～

つくば市立春日学園義務教育学校

特別支援教育コーディネーター

教諭 山口 禎恵

目次

1. 学校紹介
2. 個々の困り感について
3. オーダーメイドのICT活用事例
～支援学級で～
4. オーダーメイドのICT活用事例
～通常学級で～
5. オーダーメイドのICT活用事例
～通常学級で～
6. 視覚支援としてのICT活用
7. 今後の課題

1. 学校紹介

①春日学園義務教育学校について

- つくば市に施設一体型小中一貫校として、平成24年度開校。（開校6年目）
- 平成28年度より、春日学園義務教育学校に。
- 全校児童生徒数約2000人。



学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
クラス	9	8	7	7	7	6	4	4	4

この規模で、コーディネーターは1人だけというのが不思議・・・

②特別支援学級について

この他に、来年度在籍
予定の児童生徒を10人
くらい、教育相談として
受け入れています。

	前期課程 (1～6年生)	後期課程 (7～9年生)
自閉症・情緒 障害学級	おひさま1 おひさま2 おひさま3 おひさま4	陽光(ひかり) 1 陽光(ひかり) 2
クラス数	4クラス	2クラス
在籍人数	30人	10人

★ 本年度から、LD・ADHD対応の
通級指導教室ができました！！

③春日学園でのICTに関わる研究等

- ◆Microsoft Showcase Schools 2016
日本代表3校のうちの1校に選ばれる。
- ◆平成28年7月文科省より、情報教育推進校
(IE-School) 採択先に選ばれる。



②春日学園特別支援教育でのICTに関わる研究等

◆平成26年度～27年度

DO-It Japan
アクセシブルテストプログラム
実証研究。

◆平成27年度

WICC（Windows クラスルーム協議会）の
ICTを活用した合理的配慮実証研究。

◆平成28年度～29年度

MIEE（Microsoft認定教育イノベーター）に選ばれる。



昨年度11月

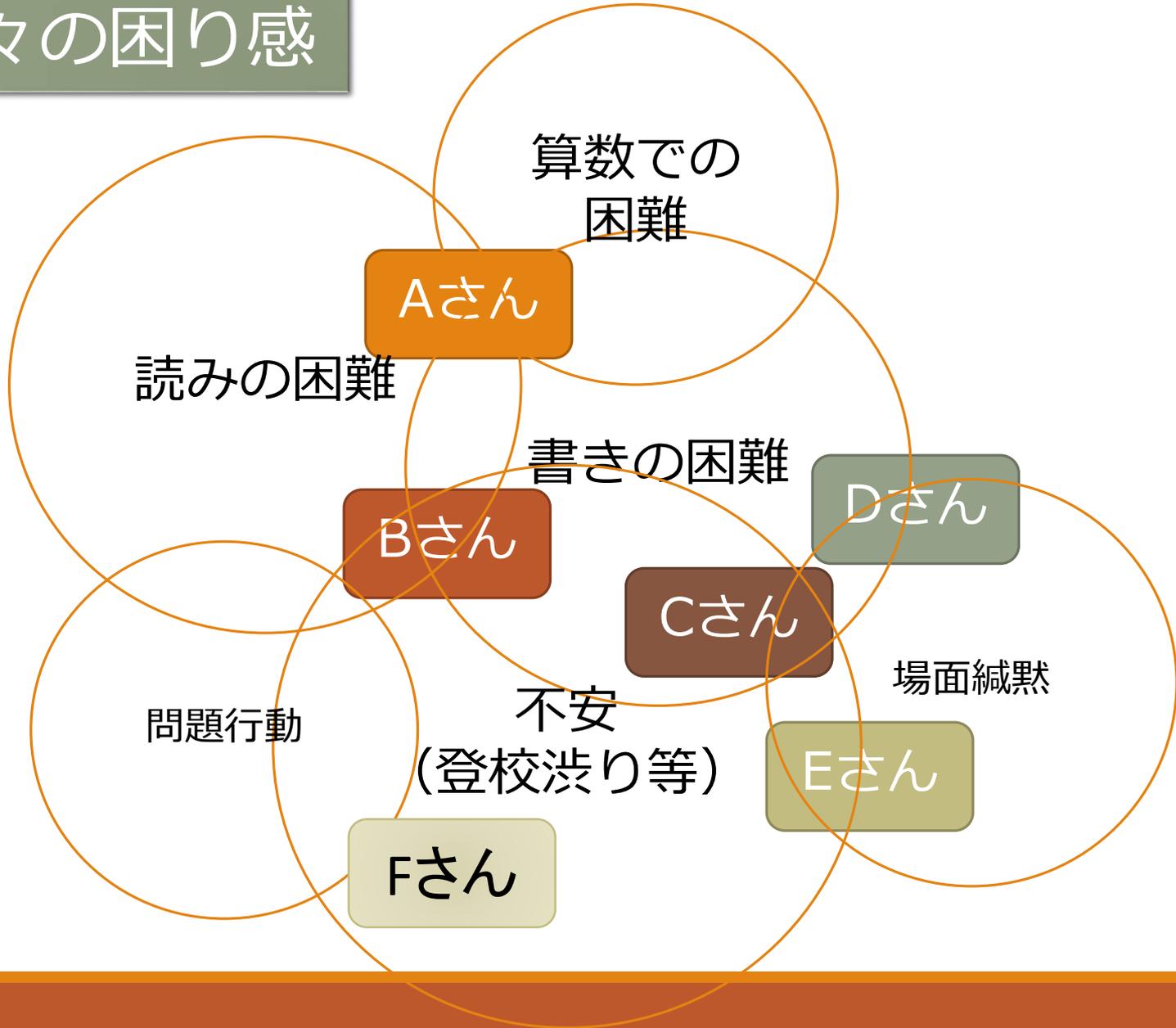
自立活動でのMinecraft Education Editionを
使用した授業を公開。

昨年度、取材を受けた記事が
CodeIQ MAGAZINEの
[『ヨッピーの突撃レポート』](#)で
取り上げられて、本校の
特別支援学級での取り組みが
かなり広まりました！！



2. 個々の困り感について

個々の困り感



3. オーダーメイドのICT活用事例 ～支援学級で～

読みの困難

Aさん

- ・読み書き障害疑い
- ・自閉スペクトラム症の特性
- ・読めないことと、自閉症の特性もあり、
「どうせ100点とれないのなら、
テストは受けない！」と、
2年生の時からテストを拒否するように。



読みの困難

Aさん

◆ オーダーメイド例（手立て） その1

聞いて覚える力がある。



音声読み上げのテストで取り組んでみる。

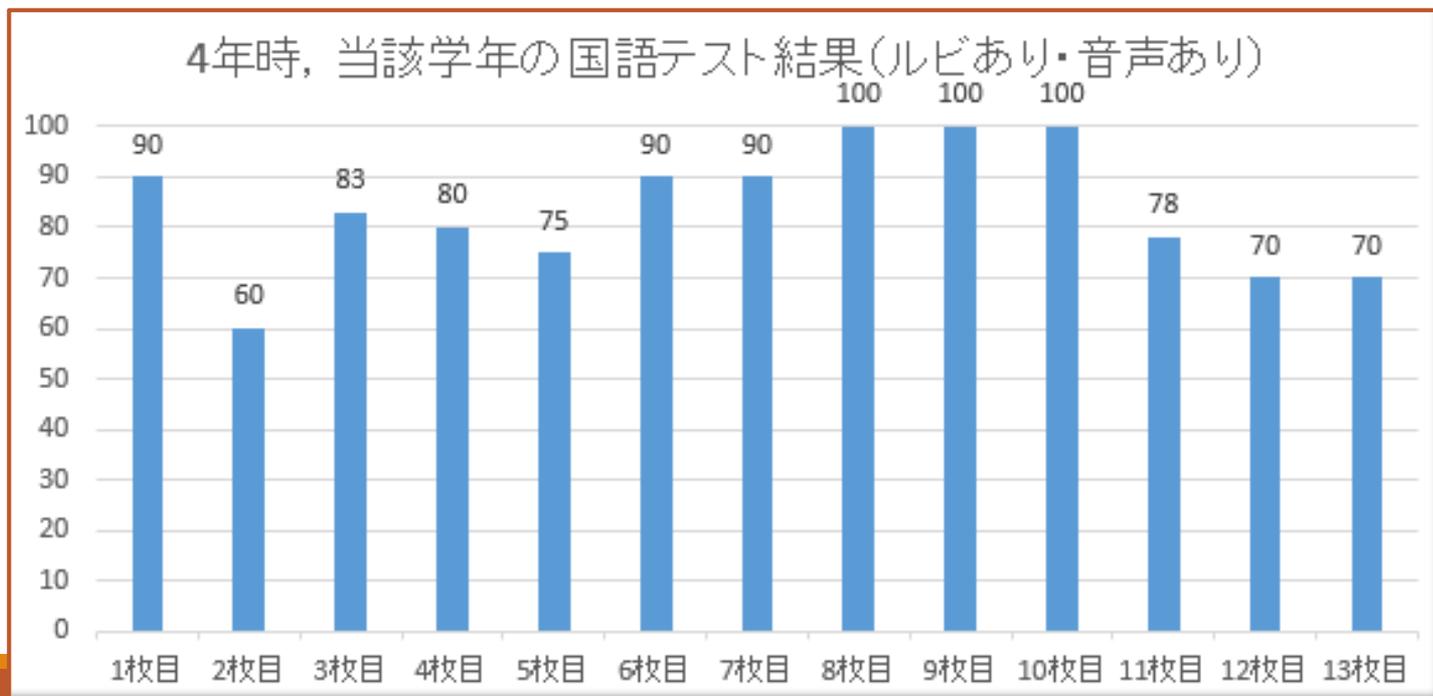
- ・ 教師が、PowerPointで
音声読み上げテストを作成。
- ・ 音声を聞きながら
テストに取り組む。

読みの困難

Aさん

◆ 成果

- ・ 当該学年のテストで、60点以上はキープできるように。

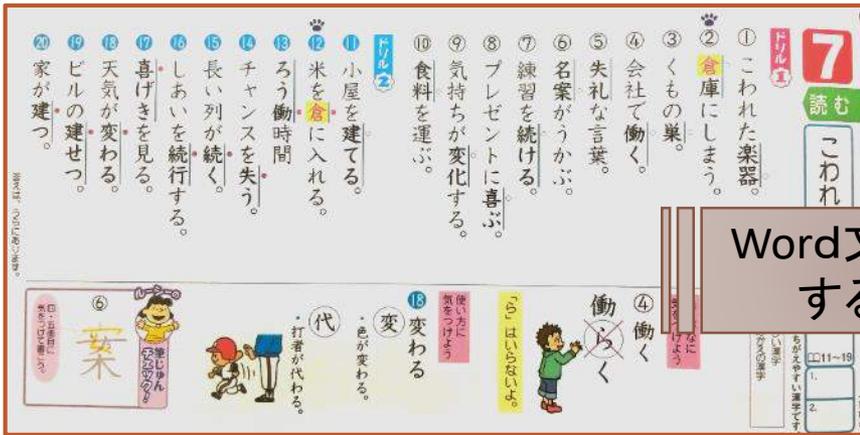


読みの困難

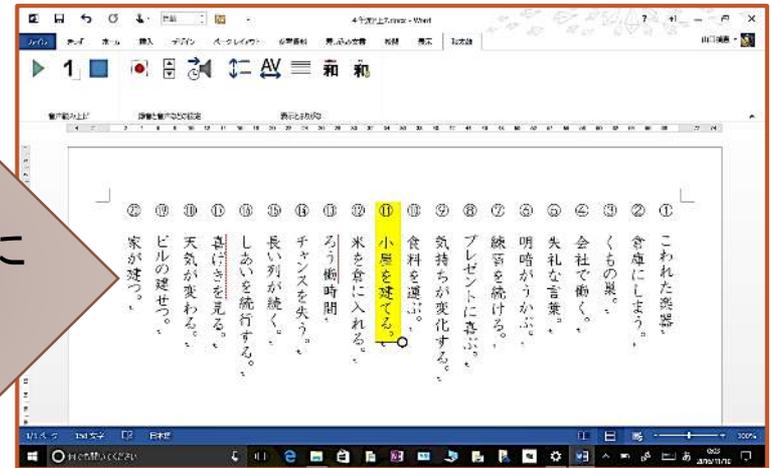
Aさん

◆ オーダーメイド例（手立て） その2

- ・ 聞いて覚える力がある。
↓
- ・ 音声の読み上げ支援で、漢字を覚える。



漢字ドリル読みのページ



Word文書にする。

和太鼓ソフトで音声を再生。

読みの困難

Aさん

◆ 成果

- ・ 当該学年の漢字ドリルの読みのページは、全部読むことができるように。
- ・ 「漢字、得意になったかも！」と自信をもつようになる。
- ・ 今までではほとんど読書もしなかったが、ふりがなのついた本も読むように。

5年時も、同様の支援を継続。読みは6割以上。「国語、得意科目になってきた」

書きの困難

Bさん

- ・ 読み書き障害の疑い。
(ひらがなとカタカナに関しては、訓練により改善。)
- ・ 特に、漢字の読み書きに困難あり。
- ・ 書けないことから、宿題も嫌がって
やらなくなってしまった



書きの困難

Bさん

◆ オーダーメイド例（手立て）

- 書きに困難はあるが、想像力が豊か。
↓
- 書かずに覚えられる方法で。
- 漢字を覚えるための「お話づくり」を行い、PowerPointのアニメーション機能で復習。



ジヨ

たすける・

たすかる

②お話にあわせ
た色分けを
しましょう

助カ

助けるときは、長い目で

カいっぱい

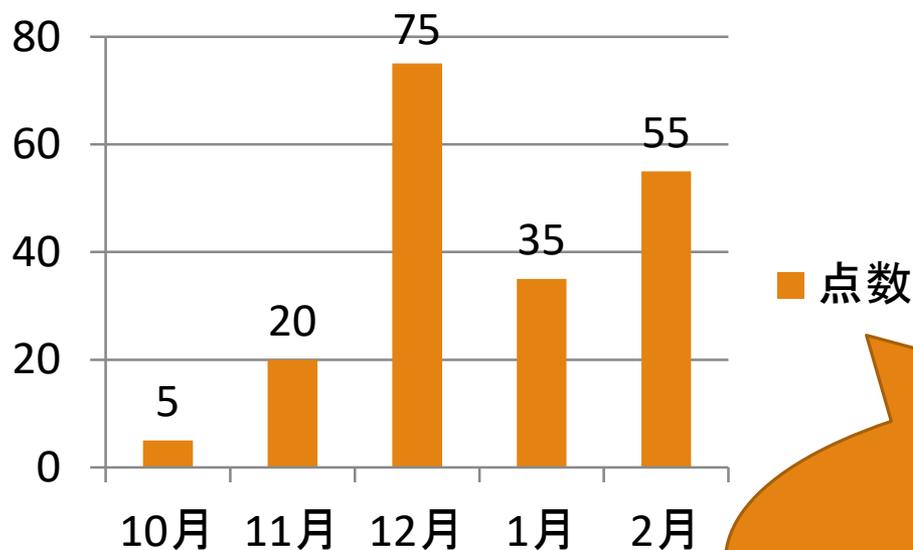
人を助ける。

書きの困難

Bさん

◆ 成果

「お話づくり」スライドでの学習開始後、
月に一回の漢字テストの点数が上昇傾向



4年時は、
漢字を書くことよりも、
読むことの強化へシフト！

書きの困難

Cさん

- 書字障害の疑い
- 自閉症の特性もあり
- 書くことに時間がかかることから、授業や宿題への取り組み意欲の低下。



授業中に「お腹が痛い」と担任に訴えるように。



学校へ来ることを渋るように。



書きの困難

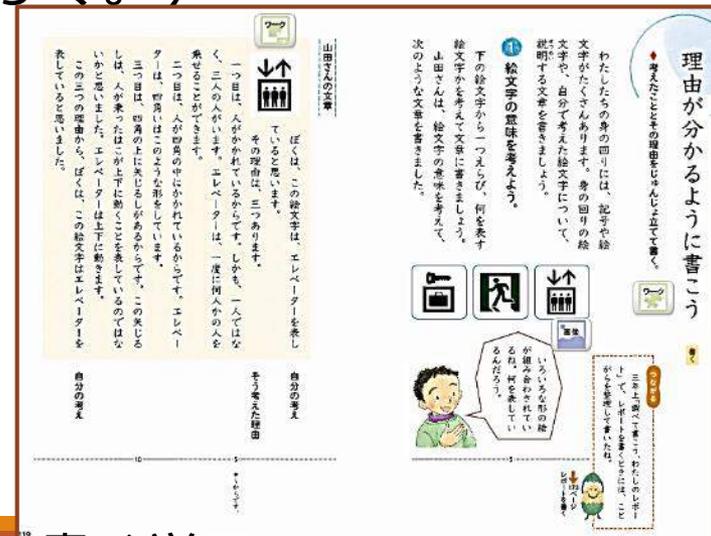
Cさん

◆ オーダーメイド例（手立て）

耳からの情報よりも、視覚情報の方が入りやすい。



- 書かなくとも、取り組み易いものにする。
（PowerPointで、型を作っておく。）
- 国語の文章作りでは、
口で説明してもらい、
教師が代筆する。
（直接パソコンで打ち込む）



名前



ぼくは、お風呂そうじを表す絵文字を考えました。この絵文字にした理由は三つあります。

まず、お風呂を表したかったので、お風呂の入れ物の絵にしました。

次に、あらっているところを表したかったので、水とせっけんのおわがでている絵をかきました。

そして、そうじを表すために、スポンジの絵をお風呂の上に書きました。

みなさんも、お母さんの手伝いで、お風呂そうじを、ぜひしてみてください。

書きの困難

Cさん

◆ 成果

- 「お腹痛い」など、不定愁訴が激減。
→不登校にならずに、毎日来ることができるようになった。
- 45分の学習で集中できる時間が増え、学習に対して前向きに。
- 構造化を図ることで、一日の流れや学習の見通しを持てるようになる。

支援学級で、今後も個別対応していくよう継続中。

場面緘黙

Dさん

- 少人数の支援級では活発に話すが、通常級にいる時はまったく話をしない。
- 自閉症の特性もあり、場所が変わっても、「同じクラスの子がいる場合は話さない」というようなこだわりもあるように感じる。



場面緘黙

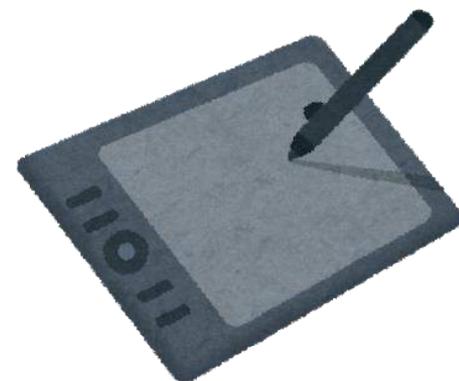
Dさん

◆ オーダーメイド例（手立て）

- 人と関わりたい思いは強い。
（話さなくとも、コミュニケーションをとろうとしている。）



- 読み上げ音声で自分の意見を伝えられるようにする。
- コミュニケーションアプリ「たすくボイス」を使用

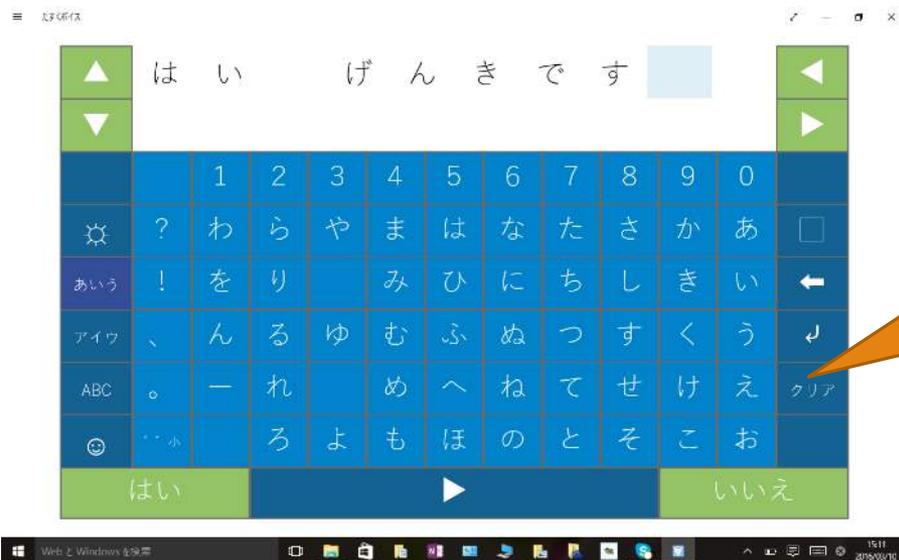


場面緘黙

Dさん

◆成果

朝礼などで先生に呼びかけられた時、アプリを使ってみんなと同じように返事をできるようになった。



2年間、
継続中！！

場面緘黙

Eさん

- 教室では、朝のあいさつのみ。
- 話したいことがあるときは、ノートで筆談。
- 話したいのに話せないストレスからか、家では親にあたりちらすことも。



◆ オーダーメイド例（手立て）

- 家以外に、安心できる場がない。
↓
- 好きなゲームを通して、
支援学級で心を許せる仲間をつくる。
↓
- 異学年のグループینگ
(3年生2人、5年生1人、7年生1人)
- Minecraft Education Editionを
使った自立活動に取り組む。

Eさん 個への配慮



説明を聞く場

Eさんは筆談ができるが、
毎回筆談だと時間がかかってしまう。

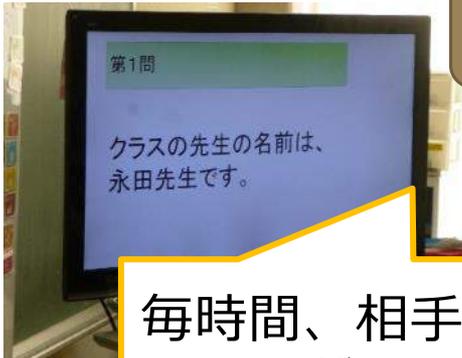


PowerPointで定型文をボタンにし、
押すと音声ができるようにする。

活動する場



全体への配慮



毎時間、相手を知るための
SSTゲームに取り組む。
※場面緘黙の子も、指さしで
相手を指し示すことができる
ように配慮。



場面緘黙

Eさん

◆成果



- ボタンをおして声をかけたり、筆談したりして、手伝ってほしいとたくさん頼むようになる。
- 「駅が作りたい」「もっと線路をのばしたい」などと、自己主張するようになる。

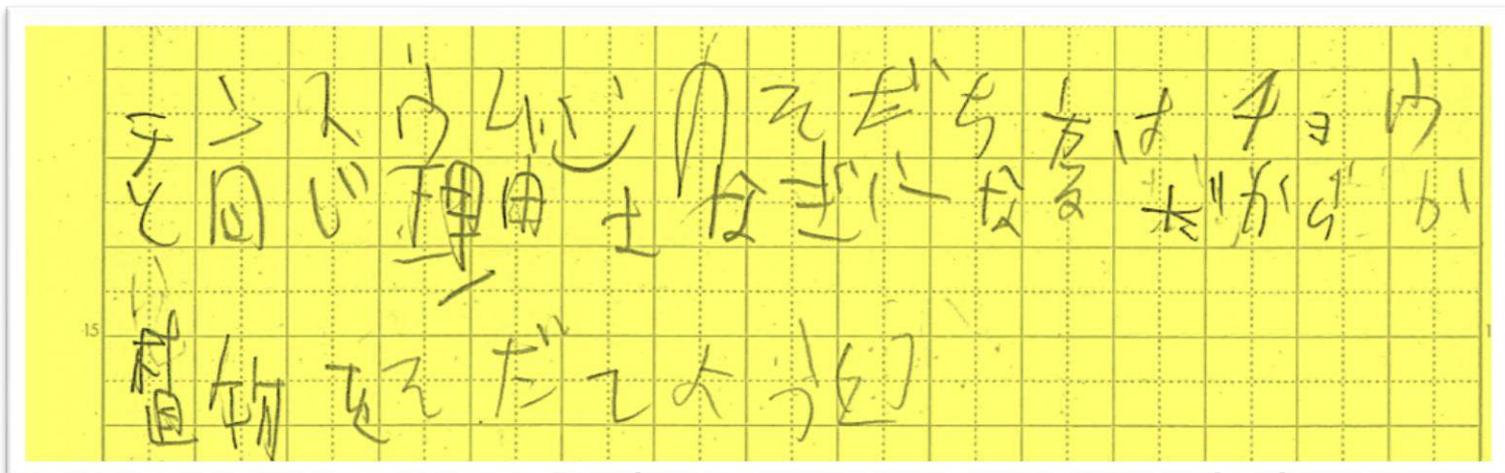


4. オーダーメイドのICT活用事例 ～通常学級で～

書きの困難

Bさん

- 書きに困難があり。
- 板書内容のノートをあつで読み返しても内容が分からない。



板書を写したノートの文字

書きの困難

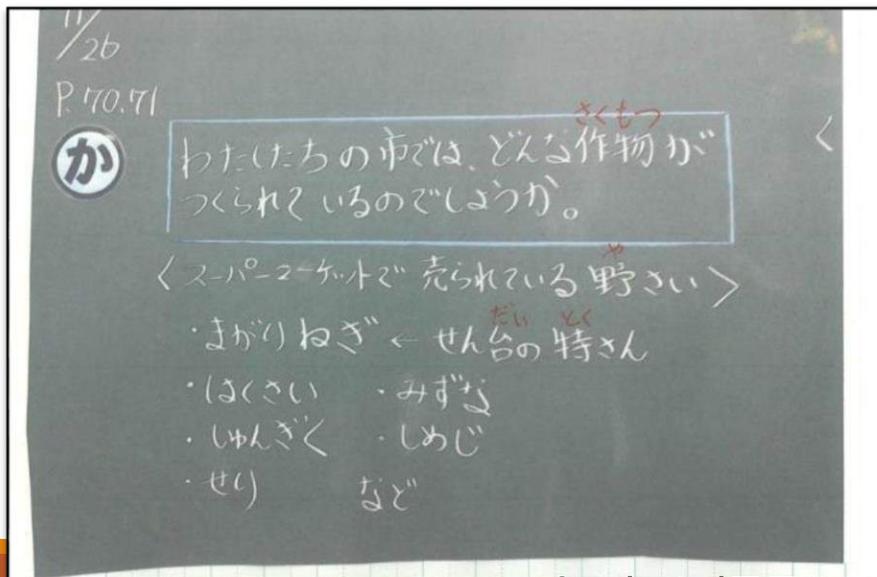
Bさん

◆ オーダーメイド例（手立て）

書くことを軽減し、学習（聞くこと）に集中。



黒板の板書を撮影・印刷し、ノートに貼る。



板書を撮影したノート

書きの困難

Bさん

◆ 成果

復習がしやすくなり、
社会のテストも点数がとれるように。

しかし、4年生後半になり、
「みんなと違って、
はずかしいから嫌だ」と
撮影をしなくなってしまう。

教師の思いだけでは、
ICT活用は上手くいかない
例。
本人の気持ちが一番大事！！

書きの困難・ スケジュール管理

Aさん

- 自閉症スペクトラム症の特性
- ADHDの特性
- 活動の切り替えが難しく、
日々のスケジュールや持ち物の確認ができない。
- 読み書きの困難もあり。
- 他人と違うことへの抵抗が強い。

僕だけ違ったら、
みんなに障害者だと
思われるから
いやだ！！



書きの困難・ スケジュール管理

Aさん

◆ オーダーメイド例（手立て）

- ・書くことを軽減



- ① タスク管理アプリでのチェックリスト作成
 - ・ 支援学級担任が連絡事項をアプリにまとめる
 - ・ タブレットを持ち帰り、自宅で持ち物チェック
- ② 支援学級で、黒板の連絡を撮影
- ③ 通常学級で、黒板の連絡を撮影

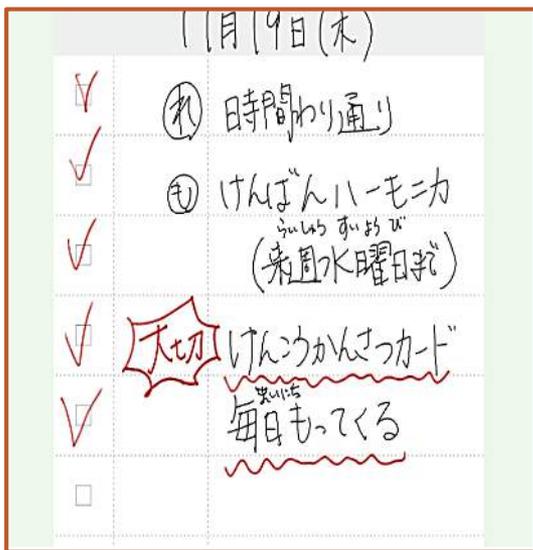


書きの困難・スケジュール管理

Aさん

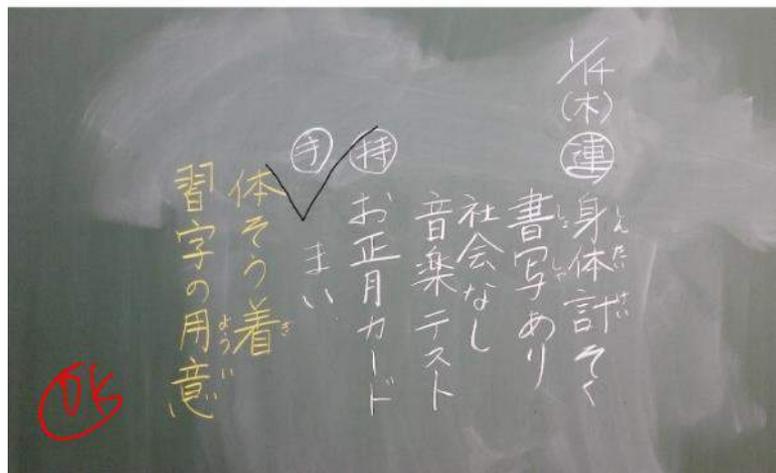
◆ 成果

①紙の連絡帳の時は、ノートを開こうともしなかったが、タブレットでは継続的にチェックをするように。



時間割・持ち物リスト

②支援級の黒板に、支援級担任が板書したものを自分で撮影・チェックするように。



撮影板書上でチェック

書きの困難・ スケジュール管理

Aさん

◆ 成果

- ③通常学級でも、連絡事項を撮影できるようになる。

撮影自体は、嫌では
なくなったので、
継続もOK

でも、
起動に時間がかかるから、
もっと手軽にやりたい。

支援学級担任が代わり、
同じように継続できると良
いが・・・。

5. オーダーメイドのICT活用事例 ～不登校児へ～

不登校

Fさん

◆ 特性

- ・ 5年生女児。ADHDとLDの診断あり。
9月に本学園に転入してくる。
- ・ 転入前の学校の支援学級担任と上手くいかなかったようで、
5年生になって不登校。支援学級に行くことにトラウマがある。
- ・ 9月当初は新しい学校ということで張り切って
朝から帰りまで交流学級に居たが、
次第にしんどくなってくる。
徐々に欠席が増えていき、10月頭頃から
本学園にも通えなくなってくる。

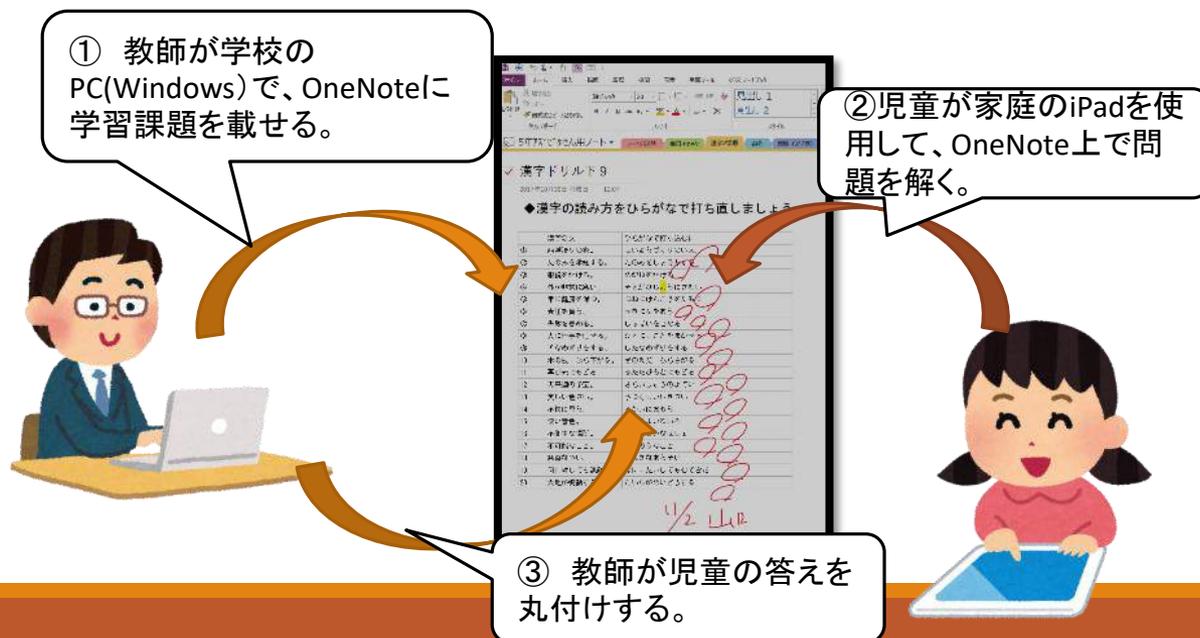


不登校

Fさん

◆ オーダーメイド例（手立て）

本人・保護者と話し合い、ひとまず学校を休んで体調を整えることと、OneNoteというソフトを使用して、家庭での学習を支援学級担任がサポートする方法を提案する。



不登校

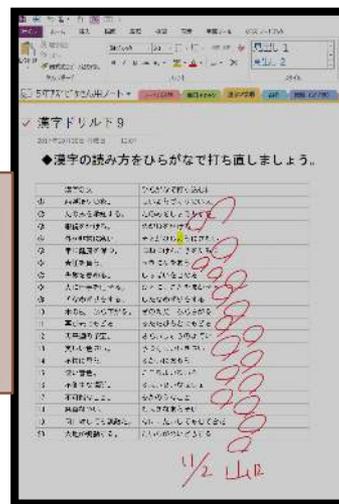
Fさん

◆ オーダーメイド例（手立て）



OneNoteの利点

- ①クラウドで管理している
- ②双方向のやりとりができる。



OneNoteの利点

家庭のWindows PCや、iPhoneからでも採点やチェックができる！！

不登校

Fさん

◆ 成果

書字に困難があるので、普通のノートだと継続できなかったが、OneNoteでのやりとりにすると、一週間に3~4回はノートの返事がくるように。

自己表現が楽しくなってきたのか、【創作】のページなど、自分から書いたり作ったものを見せてくるようになる。

放課後でもいいから必ず学校に顔を見せる約束を事前にしたところ、きちんと守って週2~3回は放課後來ている。



不登校になる前は表情も暗かったが、学校に来るストレスから解放されたことでイキイキとした表情をするように！

6. 視覚支援としてのICT活用

PowerPointの活用

- ・ 支援学級での自立活動や、個別指導の際に視覚支援としてPowerPointを使用。
- ・ 子どもたちには、動きがあった方が集中しやすい。

- ①スライドをそのまま使用（→静止画）
- ②動画を入れる
- ③アニメーションをつける
- ④Youtubeのような実況動画をいれる。



7. 今後の課題

今後の課題

- 支援学級担任が代わっても、同じ支援を継続できる体制づくり。
- 支援もずっと同じではなく、成長に合わせて柔軟に変化させていくこと。
- 家庭でも使えるよう、保護者にもICT活用についてこまめに連絡を取り合うこと。
- 通常学級や学校でのユニバーサルな環境づくり。
- 本人の、特性の受容。